
第2章

木村武山コレクションにおける中国中原青銅器

鈴木 舞

はじめに

中国における青銅器とその文化は、黄河流域に広がる中原青銅器と、中国北方の草原地帯を中心に広がる北方系青銅器に、大きく二分される。その始まりとして、紀元前5千年紀後半、中国西北地区である甘肅省、及び陝西省において刀子・筭等が散発的に発見されている。前3千年紀後半には、西北地区・中原地区の双方において、紅銅の製錬・使用による工具・装飾品等の制作が盛んになると共に、一定数の青銅製品が出現する。夏殷周の時代を迎えた前2千年紀以降、銅錫鉛の三元合金を材料に、分割鑄型を用いて複雑な形状の青銅礼器を鑄造した。これらの青銅礼器が、殷代には祖先祭祀、西周時代には王朝祭祀という形で、儀礼の道具、政治の道具として用いられたことが、中国中原における青銅器文化の最大の特色であるとされる。同時期には、本コレクションにも見られるような、武器・工具・車馬器など、また東周時代になると帯鉤といった服飾具、鏡や貨幣等も青銅で制作された。秦漢時代になると、青銅器は政治的役割を失い、代わって工芸品や日用品として流通するようになる。その後の中国社会において、鉄器、金銀器あるいは陶磁器などが用いられていく中でも、工芸品・日用品としての青銅製品の利用は、鏡や貨幣を始めとして、明清時代に至るまで継続された。

木村コレクションでは、殷代から明清時代にかけての中国青銅器を収蔵する。本章ではそのうち、中原青銅器を取り上げる。本コレクションの中原青銅器には、武器（戈・鏃・弩機）、車馬器（蓋弓帽・銜）、服飾具（帯鉤）、装飾品（銅環・獸頭飾等）、鏡、貨幣等が含まれる。その総数は1千数百点に上るが、うち600百点近くが鏃であり、半数近くを占める。各資料には、「BI-1」～「BI-1029」の蔵品番号が付されている。同一形態の資料複数点に同じ蔵品番号を付けた例があるため、所蔵品数が1029点というわけではない点は注意を要する。

北方系青銅器、青銅製品を含む契丹（遼代）金工品については、まとまった数を収蔵しているため、それぞれ第3章、第4章として、中原青銅器とは別に章立てしている。なお、本コレクションの青銅器あるいは金工品に、まとまった数の北方系青銅器及び契丹金工品が含まれることは、コレクションの来歴を知るための手がかりの1つとなる可能性がある。また、鏡についても、第5章で別途取り上げている。

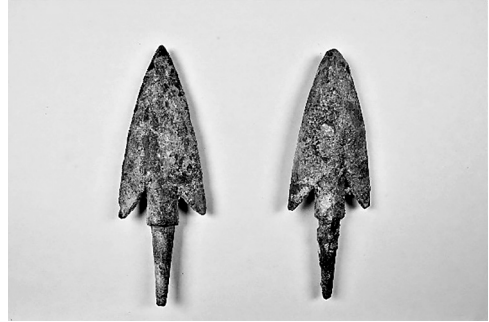
【参考文献】

- 王 仁湘 1985 「帯鉤概論」『考古学報』1985年第3期：267-312頁
- 角道亮介 2016 「中原青銅器文化の展開」『季刊考古学』135号：26-29頁
- 朱 鵬瀚 2008 『中国青銅器総論』上海古籍出版社
- 石 岩 2014 「中原地区先秦時期青銅鏃研究」『中原文物』2014年第3期：71-78頁
- 石 岩 2015 「東周時期内蒙古長城地帯青銅鏃文化探討」『北方文物』2015年第2期：24-30頁
- 戴 玥 2019 「早期鉄器時代欧亚草原東部青銅鏃的發展与演變」『西域研究』2019年第2期：97-112,154頁
- 趙 海洲 (岡村秀典監訳、石谷慎・菊地大樹訳) 2014 『中国古代馬車の考古学的研究』科学出版社東京
- 中野 徹 2012 『中国金工史』中央公論美術出版
- 林巳奈夫 1972 『中国殷周時代の武器』京都大学人文科学研究所
- 廣川 守 1999 「春秋戦国時代中原における帯鉤の編年とその使用形態 (上)」『泉屋博古館紀要』第16巻：71-102頁
- 廣川 守 2000 「春秋戦国時代中原における帯鉤の編年とその使用形態 (下)」『泉屋博古館紀要』第17巻：95-111頁
- 福岡市美術館 2010 『福岡市美術館所蔵品目録 森田コレクション』
- ※上記の他、各種発掘報告書を参考にした。
-

1. 武器



1. 有銚戈 (BI-1)



2. 二翼鏃 (左:BI-342 右:BI-344)



3. 有銚二翼鏃 (左からBI-363、364、371、378ほか計23点)



4. 有銚二翼鏃 (左:BI-94 右:BI-413)



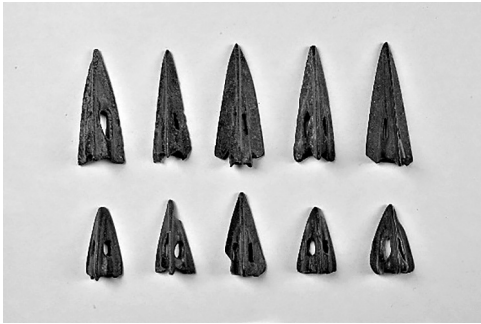
5. 鉄銚の残存する三翼鏃 (左からBI-607、617、631、636ほか計197点)



7. 有銚三翼鏃 (BI-623)

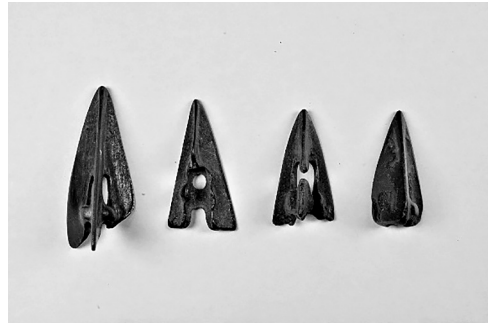


6. 鉄銚を有する三翼鏃 (上からBI-966-15、966-16、966-23ほか計9点)



8. 切込のある有蓋三翼鏃

(上段左からBI-384、BI-387、BI-395、BI-396、BI-408
下段左からBI-415、BI-417、BI-419、BI-420、BI-421ほか計42点)



鑄造欠陥のあるものが複数みられる

(左からBI-401、BI-388、BI-404、BI-389)



9. 鉄錠の残存する三稜鏃

(左からBI-144、BI-148、BI-149、BI-152ほか計170点)



11. 切込をもつ三稜鏃

(左からBI-92、BI-98、BI-104、BI-107ほか計22点)



10. 鉄錠を有する三稜鏃 (上からBI-966-18、966-21、966-27ほか計18点)

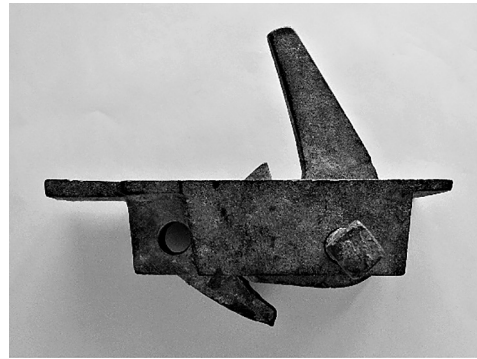
木村コレクションの青銅製品は1千数百点に及ぶが、その半数近くが鏃であり、二翼鏃、三翼鏃、三稜鏃の各種が含まれる。その特徴として、有錠鏃だけでなく、北方草原地帯で見られる有蓋鏃も含まれていること(第3章参照)、また内モンゴや楽浪土城の青銅鏃に見られるような切込(三角形の穿孔)をもつ三翼鏃が含まれていることは、本コレクションの来歴を考える上で興味深い。



12. 弩機 (BI-919)



13. 弩機 (BI-67)



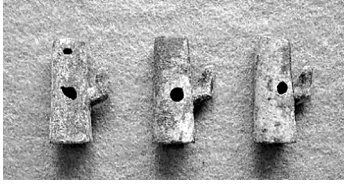
14 (左上). 弩機 (明器) (BI-68)

15 (左下). 弩機 (明器) (BI-920)

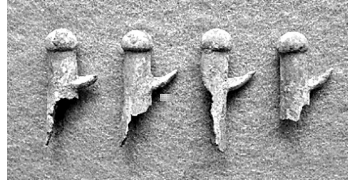
16 (右). 弩機 (BI-66)

古代中国における青銅武器の出現は、夏王朝の都とされる二里头遺跡まで遡る。それまで陶製で作られていた礼器類が青銅で制作されるようになると共に、武器もまた青銅製の戈・鏃（弓）が出現する。殷代、青銅武器の種類は戈（図版1）・矛・鏃（図版2）へ増加し、西周時代には戟、それから剣が加わる。またこの時期、北方草原地帯では、中原とは形態の異なる有蓋鏃（例えば図版4・8）が用いられるようになる。さらに戦国時代になると、弓よりも飛距離の優れるとされる弩機が出現する（図版12～16）。

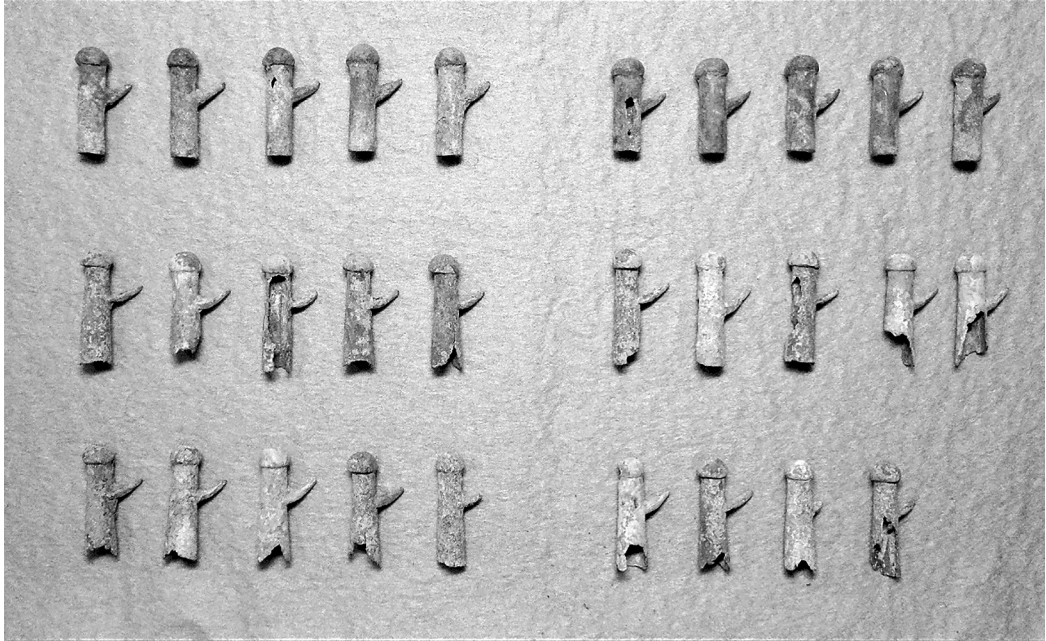
2. 車馬器



17. 蓋弓帽 (左からBI-551-1, 551-2, 551-3)



18. 蓋弓帽 (左からBI-550-1, 550-2, 550-3, 550-4)



19. 蓋弓帽

(上段左からBI-542-1, 542-2, 542-3, 542-4, 542-5, 542-6, 542-7, 542-8, 542-9, 542-10
中段左からBI-542-11, 542-12, 542-13, 542-14, 542-15, 542-16, 542-17, 542-18, 542-19, 542-20)
下段左からBI-542-21, 542-22, 542-23, 542-24, 542-25, 542-26, 542-27, 542-28, 542-29)



20. 蓋弓帽
(BI-552)



21. 銜
(BI-454)



22. 銜
(BI-456)

3. 服飾具



23. 帶鉤 (BI-832)



24. 帶鉤 (BI-668)



25. 帶鉤 (BI-666)



26. 帶鉤 (BI-830)



27. 帶鉤 (BI-692)



28. 帶鉤 (BI-689)



29. 帶鉤 (BI-691)



30. 帶鉤 (BI-690)



31. 帶鉤 (BI-699)



32. 帶鉤 (BI-829)



33. 帶鉤 (BI-656)



34. 帶鉤 (BI-672)



35. 帶鉤 (BI-702)



36. 帶鉤 (BI-683)



37. 帶鉤 (BI-630)

4. その他



38. 獣頭飾 (BI-1008-7)



39. 獣頭飾 (BI-952-1)



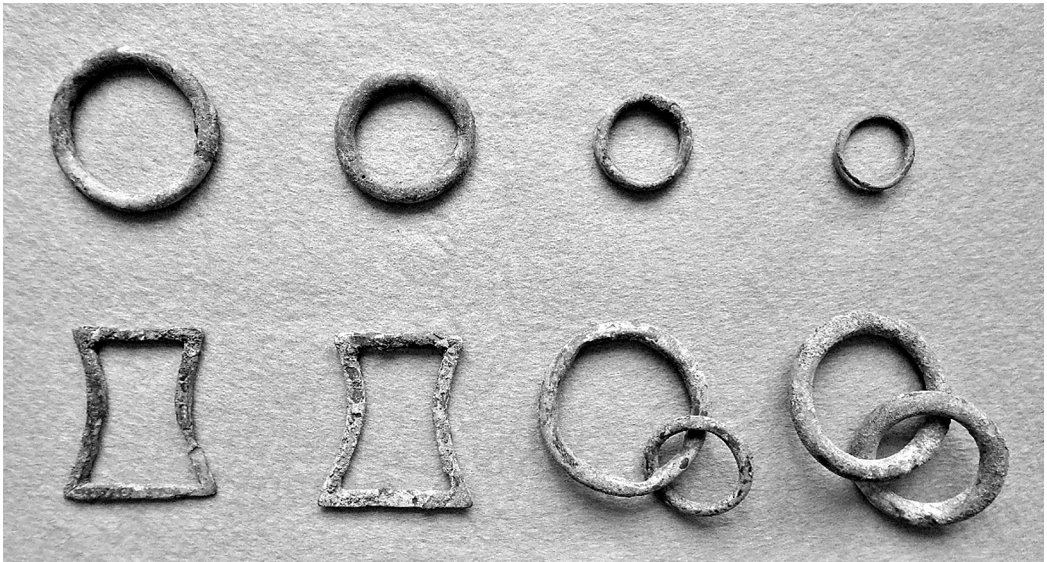
40. 獣頭飾 (BI-952-2)



41. 獣頭飾 (BI-952-3)



42. 蝶形飾 (BI-564)



43. 各種銅環及び几形器 (上段左からBI-947-1、947-2、947-7、947-8、下段左からBI-947-4、947-5、947-6、947-3)



44. 鈴 (BI-933-10)



45. 鈴 (BI-933-6)



46. 鈴 (BI-933-7)



47. 鈴 (BI-933-8)



48. 鈴 (BI-933-9)



49. 鈴 (BI-933-1)



50. 鈴 (BI-933-2)



51. 鈴 (BI-933-3)



52. 鈴 (BI-933-4)



53. 鈴 (BI-933-5)

1. 武器

器種	藏品番号	長さ(cm)	重量(g)	時代	図版番号	備考
有蓋戈	BI-1	18.8	363	殷	1	
二翼鏃	BI-342	9.0	47	殷～西周	2	
二翼鏃	BI-344	8.6	45	春秋	2	
二翼鏃(有鋌)	BI-363	4.5	7	春秋	3	
二翼鏃(有鋌)	BI-364	4.9	9	春秋	3	
二翼鏃(有鋌)	BI-371	4.4	8	春秋	3	
二翼鏃(有鋌)	BI-378	5.3	8	春秋	3	
二翼鏃(有蓋)	BI-94	3.1	4	西周～春秋	4	鑄造欠陥あり
二翼鏃(有蓋)	BI-413	3.6	3	西周～春秋	4	鑄造欠陥あり
三翼鏃	BI-607	3.3	7	戦国	5	鉄鋌あり
三翼鏃	BI-617	3.7	7	戦国	5	鉄鋌あり
三翼鏃	BI-631	3.8	9	戦国	5	鉄鋌あり
三翼鏃	BI-636	3.7	9	戦国	5	鉄鋌あり
三翼鏃	BI-966-15	—	—	戦国	6	鉄鋌あり
三翼鏃	BI-966-16	—	—	戦国	6	鉄鋌あり
三翼鏃	BI-966-23	—	—	戦国	6	鉄鋌あり
三翼鏃(有蓋)	BI-623	4.4	3	戦国	7	
三翼鏃(有蓋)	BI-384	3.4	5	戦国	8	
三翼鏃(有蓋)	BI-387	3.2	4	戦国	8	
三翼鏃(有蓋)	BI-395	3.6	5	戦国	8	
三翼鏃(有蓋)	BI-396	3.2	6	戦国	8	
三翼鏃(有蓋)	BI-408	3.6	5	戦国	8	
三翼鏃(有蓋)	BI-415	2.1	3	戦国	8	鑄造欠陥あり
三翼鏃(有蓋)	BI-417	2.2	3	戦国	8	鑄造欠陥あり
三翼鏃(有蓋)	BI-419	2.4	3	戦国	9	
三翼鏃(有蓋)	BI-420	2.0	3	戦国	9	
三翼鏃(有蓋)	BI-421	2.1	3	戦国	8	
三翼鏃(有蓋)	BI-401	4.2	7	戦国	8右	鑄造欠陥あり
三翼鏃(有蓋)	BI-388	3.2	4	戦国	8右	鑄造欠陥あり
三翼鏃(有蓋)	BI-404	3.3	6	戦国	8右	鑄造欠陥あり
三翼鏃(有蓋)	BI-389	3.0	7	漢	8右	鑄造欠陥あり
三稜鏃	BI-144	4.0	13	漢	9	鉄鋌あり
三稜鏃	BI-148	4.0	12	漢	9	鉄鋌あり
三稜鏃	BI-149	4.0	12	漢	9	鉄鋌あり
三稜鏃	BI-152	3.6	12	漢	9	鉄鋌あり
三稜鏃	BI-966-18	—	—	漢	10	鉄鋌あり
三稜鏃	BI-966-21	—	—	漢	10	鉄鋌あり
三稜鏃	BI-966-27	—	—	漢	10	鉄鋌あり
三稜鏃	BI-92	5.0	9	漢	11	鉄鋌あり
三稜鏃	BI-98	4.0	12	漢	11	
三稜鏃	BI-104	4.2	9	漢	11	
三稜鏃	BI-107	3.6	9	漢	11	
弩機	BI-919	郭長10.9	426	漢	12	
弩機	BI-67	郭長11.7	726	漢	13	
弩機	BI-68	郭長4.8	42	漢か	14	明器
弩機	BI-920	郭長5.2	46	漢か	15	明器
弩機	BI-66	郭長14.3	654	漢か	16	

2. 車馬器

器種	藏品番号	長さ(cm)	重量(g)	時代	図版番号	備考
蓋弓帽	BI-551-1～3	2.6～2.7	6～7	戦国	17	
蓋弓帽	BI-550-1～4	2.5～2.6	2	戦国～漢	18	いずれも一部欠損
蓋弓帽	BI-542-1～29	2.1～2.7	2～4	戦国～漢	19	いずれも一部欠損
蓋弓帽	BI-552	2.5	5	漢	20	外面に鍍金あり

器種	藏品番号	長さ(cm)	重量(g)	時代	図版番号	備考
銜	BI-454	21.0	172	西周	21	使用痕あり
銜	BI-456	21.3	150	春秋	22	使用痕あり

3. 服飾具

器種	藏品番号	長さ(cm)	重量(g)	時代	図版番号	備考
帯鉤	BI-832	2.9	8	戦国	23	
帯鉤	BI-668	6.0	28	戦国	24	
帯鉤	BI-666	5.9	31	戦国	25	
帯鉤	BI-830	4.5	14	戦国～漢	26	
帯鉤	BI-692	8.8	19	戦国	27	
帯鉤	BI-689	8.5	24	戦国	28	
帯鉤	BI-691	8.6	23	戦国	29	
帯鉤	BI-690	8.3	21	戦国	30	
帯鉤	BI-699	11.0	78	戦国	31	
帯鉤	BI-829	13.6	60	戦国	32	
帯鉤	BI-656	9.3	50	戦国	33	外面に鍍金あり
帯鉤	BI-672	8.2	38	戦国	34	
帯鉤	BI-702	9.5	26	戦国～漢	35	
帯鉤	BI-683	11.2	53	戦国～漢	36	
帯鉤	BI-630	3.7	8	戦国～漢	37	

4. その他

器形	藏品番号	長さ(cm)	重量(g)	時代	図版番号	備考
獸頭形帯扣	BI-1008-7	1.7×1.6	5	西周か	38	
獸頭飾	BI-952-1	4.1×3.8	40	西周～春秋	39	
獸頭飾	BI-952-2	3.6×3.9	22	西周～春秋	40	
獸頭飾	BI-952-3	4.3×3.7	48	西周～春秋	41	
蝶形飾	BI-564	5.7	21	唐	42	外面に鍍金あり
銅環	BI-947-1	径4.5	23	不詳	43	
銅環	BI-947-2	径3.8	21	不詳	43	
銅環	BI-947-7	径2.8	7	不詳	43	
銅環	BI-947-8	径2.5	2	不詳	43	コイル状、耳飾りか
几形器	BI-947-4	5.0×4.4	11	不詳	43	
几形器	BI-947-5	4.9×4.2	9	不詳	43	
銅環	BI-947-6	径4.9/2.9	33	不詳	43	
銅環	BI-947-3	径4.7/3.9	55	不詳	43	
鈴	BI-933-10	2.8×3.9	4	東周	44	
鈴	BI-933-6	3.9×5.8	12	東周	45	
鈴	BI-933-7	2.9×4.4	11	東周	46	
鈴	BI-933-8	2.9×4.7	7	東周	47	
鈴	BI-933-9	3.1×3.4	7	東周	48	
鈴	BI-933-1	5.1×6.5	33	漢	49	
鈴	BI-933-2	5.4×6.6	36	漢	50	
鈴	BI-933-3	5.1×6.5	34	漢	51	
鈴	BI-933-4	5.5×6.5	30	漢	52	
鈴	BI-933-5	5.3×6.5	33	漢	53	